一液形水性　窯業系サイディングボード改修用下塗材

EXTRA アクアプラサフ

窯業系サイディングボードの
塗り替えに威力を発揮。

特長

抜群のシール性

きめが細かいので、上塗りの吸い込みが少なく、
高仕上がり外観が得られます。

優れた隠ぺい性

色変えにも最高。

微弾性機能

ヘアクラックに追従します。

防藻・防かび性

藻やかびの繁殖を防ぎます。

適用上塗塗料

EXTRAアクアフッソ	エコクールアクアSi	DNTビューアクリル	DNTシリコンスマイルクリーン
EXTRAアクアシリコン	エコクールスマイルF	DNTビューウレタン	DNTウレタンスマイルクリーン
EXTRAスマイルフッソ	エコクールスマイルSi	DNTビューシリコン	
EXTRAスマイルシリコン	エコクールスマイルU	Vフロン#200スマイル	

適用素材

◆窯業系サイディングボード
◆ALCパネル
◆コンクリート・RC面
　⟩ 各種旧塗膜の上※

※ 新設時または光触媒・無機系・ふっ素系コーティングのサイディングボードに塗装する場合は、必ず下塗りに「EXTRA万能アクアシーラー白」を塗装して下さい。

大日本塗料株式会社

一液形水性　窯業系サイディングボード改修用下塗材

EXTRA アクアプラサフ

◆塗料性状※

項　目		内　容		
容　姿		一液性		
荷　姿		15kg		
色　相		白		
光　沢		－		
密　度（23℃）	塗料	1.43～1.49		
	揮発分	1.00		
粘度（23℃）		60～100PS（リオン粘度計/No.1ローター）		
加熱残分		65%以上		
乾燥時間	温　度	5℃	20℃	30℃
	指　触	1時間	30分	10分
	半硬化	3時間	1時間	30分
標準膜厚		－		
引火点		SDS参照		
発火点		SDS参照		
爆発限界（下限～上限）		SDS参照		

◆塗装基準※

項　目		内　容		
下地処理		素材表面の油分・汚れ・埃などを除去し乾燥した清浄な面とする。pH10以下、含水率10%以下		
塗装方法		刷毛・ローラー		
希釈剤		水道水		
塗装方法	塗装方法	刷毛・ローラー		
	希釈率	2～5％		
	標準使用量	0.20～0.40kg/㎡/回		
	標準膜厚	－		
	ウエット管理膜厚	－		
塗装間隔	温　度	5℃	20℃	30℃
	最　小	24時間	16時間	12時間
	最　大	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月

※ 塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。
※ 本チラシ値は、製品を適正にご使用頂くための条件の代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

◆関連法規

危険物表示	－
有機溶剤区分	－
有害物表示	SDS参照
劇物表示	－

◆標準塗装仕様（塗り替え）

工程	商品名	色相	塗装方法	薄め液（希釈剤）	希釈率（%）	塗回数	標準使用量（kg/m²/回）	塗装間隔（20℃）
下地調整	1.汚れ、脆弱な層などを適切な工具（ブラシやサンドペーパーなど）を用いて除去する。 2.ブラシ・ホウキなどを用いてゴミ・埃を取り除き、清浄な面とする。							
下塗り	EXTRAアクアプラサフ	白	刷毛・ローラー	水道水	2～5	1	0.20～0.40	16時間以上
上塗り	各種上塗塗料の標準仕様に準じる							

※上記の各数値は標準的な数値です。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、希釈率及び測定機器、測定方法により増減します。
※ 本チラシ値は、製品を適正にご使用頂くための条件の代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。
※上記の使用量は記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ所定の使用量・膜厚になるよう使用量・塗り回数数値を調整して下さい。
※旧塗膜は健全な状態であることを想定しています。
※塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守って下さい。縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります。
※塗り重ね乾燥時間は、上塗りを塗布する時間となります。

◆施工上の注意

1、**光触媒のサイディングボードには適応しておりません。**光触媒処理を施した素材には、塗膜劣化が早まるなど不具合を生じる場合がありますので塗装を避けて下さい。
2、畜熱されやすい建材（軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など）を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が**弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップ**などの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去して下さい。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談下さい。
3、本品は規定の塗り重ね乾燥時間よりも早く上塗りを塗装しますと、縮み、割れ、乾燥不良を起こしますので、塗り重ね乾燥時間を守って下さい。また、吸い込みの大きい下地や素材の場合は、塗り重ね乾燥時間は長めにとって下さい。短時間で上塗りを塗装しますと、溶剤による膨れや縮みなどが発生するおそれがありますので避けて下さい。
4、JIS A 6021の下塗りとしての適性はありません。
5、旧塗膜に発生した藻　かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面として下さい。付着阻害をおこすおそれがあります。
6、既存塗膜のはく離個所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行って下さい。
7、素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケット科学社製Hi500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装して下さい。
8、表面のゴミ、埃、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にして下さい。
9、ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、市販の樹脂入りセメント系下地調整材などで処理して下さい。（合成樹脂エマルションパテの使用は避けて下さい。）
10、塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けて下さい。
11、屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けて下さい。
12、塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行って下さい。
13、塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にして下さい。
14、飛散防止のため必ず養生を行って下さい。
15、シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないで下さい。
16、プレハブ住宅の場合、定形シーリング(ガスケット部)に塗装すると、可塑剤の移行により汚染が発生しますので塗装しないで下さい。
17、笠木、天端など長時間水が滞留する個所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促して下さい。
18、汚れ、キズなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にして下さい。
19、可塑剤が多く含まれる塩ビゾル鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避け下さい。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようご注意下さい。
20、表面に特殊セラミック処理、特殊ガラスコート処理、フッ素コート処理、はっ水処理、光触媒処理などの特殊な処理を施した素材には、塗料が付着しない場合や、塗膜に不具合を生じる場合がありますので塗装を避けて下さい。
21、平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。
22、塗料は内容物が均一になるように撹拌して下さい。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、撹拌機を用いて缶底の沈降物を十分に撹拌してご使用さい。
23、開封後は一度に使い切って下さい。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切って下さい。
24、塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないで下さい。
25、製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照下さい。

◆使用上の注意

引火性の液体で、危険有害性情報がある物質を含有していますので、取り扱いには下記の注意事項を守って下さい。
※詳細な内容は、安全データシート（SDS）をご参照下さい。

●取扱い上の注意

1.火気のない局所排気装置を設けたところで使用して下さい。
2.塗装中、乾燥中は換気をよくし、蒸気を吸込まないようにして下さい。
3.取扱い中は、皮ふにふれないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用して下さい。
有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、頭巾、保護めがね、長袖の作業衣、えり巻きタオル、保護手袋等。
4.取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。
5.塗料の付いたウエスや塗料カス、スプレーダストは廃棄するまで水につけておいて下さい。
6.よくフタをし、40℃以下の一定の場所に貯蔵して下さい。
7.子供の手の届かないところに保管して下さい。
8.捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。
9.本来の用途以外に使用しないで下さい。

●緊急時の処置

1.火気のない局所排気装置を設けたところで使用して下さい。
2.火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器又は粉末消火器を用いて下さい。
3.目に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
4.誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
5.皮ふに付着した時には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みや皮ふに変化等がある場合には、医師の診察を受けて下さい。
6.蒸気、ガス等を吸込んで気分が悪くなった時には、安静にし、医師の診察を受けて下さい。
7.容器からこぼれた時には、布で拭きとり、その布を水の入った容器に保管して下さい。　⑥

※ 本チラシ値は、製品を適正にご使用頂くための条件の代表値を記載したものです。
記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。
※ 本製品の内容は予告なく変更することがあります。

DNT 大日本塗料株式会社　塗料相談室　フリーコール0120-98-1716（いーないろ）　https://www.dnt.co.jp/

大阪営業所　☎06-6266-3116　〒542-0081　大阪市中央区南船場1-18-11（SRビル長堀）
東京営業所　☎03-5710-4501　〒144-0052　東京都大田区蒲田5-13-23（TOKYU REIT 蒲田ビル）
札幌営業所　☎011-822-1661　〒003-0012　札幌市白石区中央二条1-5-1
仙台営業所　☎022-236-1020　〒983-0034　仙台市宮城野区扇町5-6-20
神奈川営業所　☎042-786-1831　〒252-0233　神奈川県相模原市中央区鹿沼台1-7-7（トラスト・テック相模原ビル）
名古屋営業所　☎052-332-1701　〒460-0022　名古屋市中区金山1-12-14（金山総合ビル）
広島営業所　☎082-286-2811　〒732-0802　広島市南区大州3-4-1
福岡営業所　☎092-938-8222　〒811-2317　福岡県糟屋郡粕屋町長者原東3-10-5

C-7814.21.6①OCC